

## グローバル BCP 研究会 2011 年度 第一回会合 (議事録)

### 1. 会合概要

- (1) 開催日時：2011 年 5 月 31 日(火) 16:00~17:30
- (2) 場所 所在地：東京都中央区日本橋本町 4 丁目 3-4 東海日本橋ビル  
会場名：BCAO 東京オペレーション事務所会議室
- (3) 今回の議長役：原田座長
- (4) 議事録作成者：金子留美
- (5) 出席者：以下 X チェックの 6 名 (会員 11 名)、欠席者：以下 5 名

メンバー(X=出席)		メンバー(X=出席)		オブザーバー など	
1.座長 原田泉	<input checked="" type="checkbox"/>	11.金子留美	<input checked="" type="checkbox"/>	理事長 丸谷様	<input type="checkbox"/>
2.副座長 白澤健志	<input type="checkbox"/>	12.	<input type="checkbox"/>	事務局長 細坪様	<input type="checkbox"/>
3.上田 悦久	<input checked="" type="checkbox"/>	13.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
4.金井 正弘	<input checked="" type="checkbox"/>	14.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
5.小山 和博	<input type="checkbox"/>	15.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
6. 佐々木 忍	<input type="checkbox"/>	16.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
7. 菅谷 豊	<input checked="" type="checkbox"/>	17.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
8. 廣本 英隆	<input type="checkbox"/>	18.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
9. 新藤 康	<input checked="" type="checkbox"/>	19.	<input type="checkbox"/>	出欠 ON/OFF は右クリック、プロパティ の既定値の設定で	
10.能任 裕行	<input type="checkbox"/>	20.	<input type="checkbox"/>		

### (6) 次回開催予定

第二回 2011 年 6 月 28 日(火) 16:00~17:30 B C A O 東京オペレーション事務所会議室

### (7) 当日配布資料

特になし

### 2. 議事内容

#### (1) 副座長について

- ・本年度の副座長は金井さん (セイコーエプソン) とする。

#### (2) 2011 年度の活動内容について

- ・外部講師を呼んで当研究会の知見を広げるのはどうか。  
外資系企業の事例があるのであれば、彼らが震災時にどのような行動を行ったのかを話してもらってはどうか。
- ・当研究会はグローバル BCP であるので、今回の震災という貴重な経験を生かし、海外企業が日本で被災した場合に BCP をどう発動したかを中心にするべきではないか。

- ・日本がグローバルに与えた影響としては、日本の部品供給停止により、サプライ・チェーンをとめたことが大きな問題であろう。
- ・新潟中越地震の場合、リケン-トヨタ間では事前に協定を定めておいたが、今回の震災は被害が甚大で、トヨタと部品会社間の協定は機能しなかったとのことだ。ちなみにリケンのケースは新潟中越地震後に部品工場を二重化したとの事であるが、工場が二重化されていても同じ部品が作れないというケースは多々あるのだろう。
- ・いずれにせよ、サプライ・チェーンがBCPでは最後にボトルネックになるので、このあたりの情報収集や議論を行いたい。
- ・富士通エフサス様では以前、下請けを含めてBCPをグループ全体で構築するという話があったが、その後どうなったのか聞きたい。
- ・上記の討議を含めて、どんな事項を講演のテーマとすべきか、次回の研究会までに各自検討して持ち寄ることとする。

(3) 2011年度中国との交流会について

- ・中国との交流会については、日程は8月30日に北京の青華大学と連携し、開催することとなった。午前中はアカデミックな観点での地震についての講演、午後は企業交流を想定している。日本側はNEC、インターリスク総研、セイコーエプソン（金井さん）の他、1,2社を想定している。

(4) USでDisaster Recovery Journalのカンファレンスについて

- ・今年は9月前半に実施予定。日本側のゲストスピーカーは細坪さん。

(5) DRI Internationalからの講演依頼について

- ・BCAO宛にUSのDRI Internationalから講演依頼を頂いた。専門家のサミットを企画している。主催は危機管理機構といくつかの団体、US、中国等で開催予定。日本では丸谷理事長に依頼予定。日程は8月に東京、その後新潟で開催予定である。

(6) 議事録の送付について

- ・議事録はドラフトを研究会メンバーに送付後、レビューの一定期間を設けて、期間内にフィードバックがなければ決定稿とし、事務局あてに送付する。

以上